

比較日本学教育研究部門研究年報 第19号 目次

《巻頭言》

神田 由築	3
-------	---

《第24回国際日本学シンポジウム》沖縄の祖先祭祀と墓

総括	宮内 貴久	6	
基調講演	古家 信平	沖縄の火の神、仏壇、墓、御嶽から祖先祭祀を見る	7
コメント	武井 基晃	沖縄の清明祭のお供えと、墓の今後	16
コメント	宮内 貴久	沖縄県糸満市「ジョウアキー」	22

《第17回国際日本学コンソーシアム》モノからコトへ

◆日本語・日本語教育部会

林 慧君	漱石作品における非外来語のカタカナ表記について	28
朱 桂榮	中国の大学日本語教師による授業改善の試み —ある教師研修会の成果物に基づく分析—	35
趙 萱	多義的視覚形容詞の意味拡張に関する一考察 —「暗い」と“暗”の中日対照研究を中心に—	41
連 菁	句・文を前接成分とする「X系/派/流」についての考察	47
戈 春曉	外来語程度名詞と増加・減少を表す動詞類との共起関係	49
西坂 祥平	体験型・発信型プロジェクトを通じた日本語学習者の防災意識の変容	55
池田 來未、柄田 千尋	概要	62

◆日本文学部会

ベネゼ リズ	和泉式部の歌群における秋の想像力 —和泉式部の十首歌群を中心として—	64
蘇 文甯	中世日本における瀟湘八景詩歌の表象について —「遠浦帰帆」を中心に—	70
王 威鈞	林芙美子の戦後作品における〈雨〉の働き ——『浮雲』を中心に——	76
范 淑文	一文人としての姿勢 ——夏目漱石のモノからコトへ——	83
李 知雨	西洋視点で見た Haku Rakuten —英訳能「白楽天」を通して—	90
柴田 眞希	太宰治中期作品における方法論的系譜の再考（ポスターセッション）	91
富永 まゆ	萩原朔太郎の詩作における「音楽性」と意義 —前期詩集『月に吠える』『青猫』から晩年の『氷島』へ—（ポスターセッション）	93

小笠原未鮎	概要	96
◆日本文化部会		
遠藤みどり	日本古代官僚人事データベースの構築と活用	99
馬 雲雷	「他者」と「神国思想」についての一考察	104
梁 媚	中日伝統芸能の継承について —梅蘭芳の初めての上海公演を例に—	111
基丸 謙	日仏の交差という視座から見る保護マスク ——モノとコトの接続する歴史——	116
邱 冠禎	概要	123
《「伝統芸能×未来」プロジェクト（JPAF）鼎談》		
石橋健一郎、金子健、埋忠美沙	伝統芸能の保護と振興 ——文化庁と国立劇場	126
《国際日本学講演会》		
第5回 国際日本学講演会		
藤幡正樹、マイケル・エメリック	拡張させない現実感技術 ——歴史のデジタルパフォーマンス	144
《研究論文》		
鶴島 博和	もう一つの天草くずれ：天草キリスト教史序説（補論）	168
鈴木 朋子	佐々木月樵における仏教と音楽	178
《比較日本学教育研究部門活動報告》		
部門活動報告		187
研究プロジェクト活動報告		190
投稿規定		196
バックナンバーのご案内		198
お知らせ		198
編集委員より		198